

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2006年9月10日号

目次

◎ポジティブリスト制の影響で日本向け農産物輸出が減少

【国際商報 2006年09月05日】

◎大雨で四川、重慶の干ばつ影響緩和の見通し

【経済日報 2006年09月06日】

◎ポジティブリスト制の影響で日本向け農産物輸出が減少

【国際商報 2006年09月05日】

日本の残留農薬規制強化策・ポジティブリスト制度が5月29日から実施されているが、中国の日本向けの農産物輸出は同制度の大きな影響を受けている。税関当局の統計によると、全国6月の日本向けの農産物輸出額は6億ドル(前年同月比17.9%減)、7月の輸出額は6億3千万ドル(1.7%減)を記録した。6月のウナギ蒲焼輸出額は2398万ドル(前年同月比58.8%減)、7月は1811万ドル(前年同月比46.2%減)と大きく減少した。5月から8月にかけて広東省の日本向けのウナギ蒲焼輸出も減少が続いている。

商務部が発表した「対日農産物輸出リスク評価報告」は、ポジティブリスト制の実施で、肉製品、野菜、果物、水産物、食用菌、茶葉、穀物などの輸出リスクが拡大していると指摘。この指摘を受けて検疫機関は対日輸出農産物の検査の割合を50%に引き上げている。

◎大雨で四川、重慶の干ばつ影響緩和の見通し

【経済日報 2006年09月06日】

中央气象台は、5日17時、今後2日以内に四川盆地、重慶などの地区で暴雨が発生し、干ばつの影響は緩和されるとの予報を発表した。中央气象台によれば今後2日以内に西南地区の東部、西北地区東部の一部分、華北地区の大部分、黄淮西部と南部、江淮地区の大部分、江南地区の大部

分、華南地区東部では中規模程度の大雨が降る見込み。特に四川盆地、重慶市、貴州省西北部、湖北省西部、福建省東北部などでは部分的に暴雨、局地的に大暴雨となるため、長期間続いている干ばつの影響が緩和されるものと予測されている。四川省では4日夜から多くの地区で大雨が降っている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。